

熊本県障がい者陸上教室 報告

去る 3 月 25 日（土）午後 2 時より、『熊本県障がい者陸上教室』が熊本県障害者スポーツ・文化協会の主催で、嘉島町総合運動公園にて開催されました。

熊本障がい者スポーツ指導者協議会からは 14 名の指導員の方々にご参加いただき、車いす（トラック・投てき）・立位（知的障がい・聴覚障がい）などそれぞれに分かれて、サポートをしてまいりました。

今回の教室は、熊本県内の障がい者・児を対象に、様々な陸上競技を体験していただき、スポーツの楽しさと健康維持・増進、機能の向上や、教室参加を通して社会性や自立心・向上心・精神力を養い、参加者間の交流を行うことで障がい者の自立と積極的な社会参加への実現に寄与することを目的に開催されました。

また 2020 東京パラリンピックに向けて、これから競技スポーツとして取り組んでいきたいという参加者の意識づくりと発掘を行うことも目的の一つとして掲げられていました。

当日は、午前中降っていた雨も上がり動きやすい気温の中、参加者全員気持ちよく陸上競技体験を行うことができました。指導員の方々も熱心にご指導やサポートにあたっていただき、参加者の中からは「これから（陸上を）始めてみたい！」や「競技に対して、いいイメージができた。」など、今後につながるコメントも出ていました。

今回の参加された方々に、一人でも多く継続してスポーツに取り組んでいていただきたいですね。その為の環境づくりも非常に大切になってくると思います。それには私たち、障がい者スポーツ指導員の活動もとても大切です。今回お手伝いいただいた指導員の方はもちろん、残念ながら参加できなかった方も、次の機会にはぜひご参加ください！

